

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	必修
担当教員			
河合 博子			
B (経営学科)	S (専門科目)	SM (演習)	402 (専門ゼミ・卒業論文等)
授業のねらい (概要)	経営学研究の実践的な方法や最新の知識や手法、自ら学び続ける態度や課題解決力と自発性、創造的な学習態度を育てることを目的とする。学生自ら興味や関心のある経営の諸活動に関する研究課題を設定するとともに、各自の研究課題に即した研究計画の策定から、各自の研究計画に基づく資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返しながら、自己の考えを展開する能力を高めるとともに、研究成果に関する成果発表に向けた指導を行う。		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 経営学課題研究について(授業目標、身につける能力とスキル、成績評価の方法など)</p> <p>予習(時間)：研究計画のスケジュールを確認する。(120) 復習(時間)：スケジュール調整と確認をする。(120)</p> <p>第2-3回 課題考察力をつける 1) 自分が選んだリサーチクエッションに回答できる文献が収集できたかを確認をする。 2) メモの主張を見ながら自分なりの主張を導く。 3) 必要があればリサーチクエッションの修正を行う。</p> <p>予習(時間)：Work17 p98-101を熟読する。(120) 復習(時間)：Workを完成させる。(120)</p> <p>第4-6回 論文構成力をつける プロジェクト調査の考察結果から、序論(はじめに)を書いて、論文の前提を明らかにする。論文の展開を考える。論文の展開を発表し相互に評価しあう。 1) 自分の選んだテーマや論点 2) 社会的背景/歴史的背景、3) 個人的背景 4) 研究目的・研究方法 5) 主張 (4の結果わかったこと) 6) 論文の展開</p> <p>予習(時間)：Work18 p102-105を熟読する。(120) 復習(時間)：Workを完成させる。(120)</p> <p>第7-8回 調査プロジェクトを準備する</p> <p>予習(時間)：調査プロジェクトの準備をする。(120) 復習(時間)：調整・修正をする。(120)</p> <p>第9-10回 調査プロジェクトを実施する</p> <p>予習(時間)：調査プロジェクトの最終確認をする。(120) 復習(時間)：データの整理をする。(120)</p> <p>第11-13回 文章構成力をつける 1) 主張を支える根拠をもとに仮の章立てを作り、それをもとに執筆のためにアウトラインを作っていく。2) 執筆のためのアウトラインを文章に仕上げる。3) 章立てを確定する。4) 下書きを推敲する。</p> <p>予習(時間)：Work18 p106-113を熟読する。(120) 復習(時間)：Workを完成させる。(120)</p> <p>第14回 中間発表 予習(時間)：発表資料を準備する。(120) 復習(時間)：指摘事項をもとに改善する。(120)</p> <p>第15回 調査報告レポート作成 提出前に数回確認する 予習(時間)：調査報告をまとめる。(120) 復習(時間)：調査報告レポートを完成させる。(120)</p>		
授業を通して身に付けることができる能力(DP)	DP「商学部」の 2) 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に望む姿勢 3) 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP「経営学科」の 2) 経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を多面的に理解し、活用できる能力 [身に付くスキル]生涯学習力・論理的思考力		
到達目標	①各自のテーマに関する業界の動向が理解できる。 ②各自のテーマに沿った文献調査あるいはフィールド調査ができる。 ③文献をまとめ、レジュメとスライドを使った発表ができる。 ④発表において適切な質疑応答ができる。 ⑤テーマに関する先行研究の論点をまとめて、4000字程度の調査報告書を、引用のルールに従い作成することができる。 ⑥研究進捗の中間発表ができる。		

課題や小テスト等のフィードバックの方法	演習時間内に、随時、個別または、集団対象にフィードバックを行う。
履修上の注意	専門演習は、一人で行う学習作業の他に、グループ活動や4年生と合同で行うこともある。演習を通じて、レポート、論文の書き方を修得し、学生自身が卒業研究のテーマを構想していくことが必要である。自己の学習管理をしっかり行い、発表時には準備不足がないように努めることが必要である。
成績評価の方法・基準	毎回の演習課題の進捗状況（30％）中間発表（20％）卒業研究進捗内容を含む4000字程度の調査報告書（50％）
教科書	桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版スキルを学ぶ21のワーク』実業出版 2015年 1296円 ISBN-10: 4407336145 ISBN-13: 978-4407336146
参考書・教材	卒論の書き方学習に教科書を使用する。文献等は、必要に応じて随時指定する。分析ツール等の操作マニュアル等は、電子教材、プリントで配布する。
備考	講義科目(ゼミ形式)
教員との連絡方法	基本的にMellyとグループ電子メールを使う。Lineは原則として使用しない。